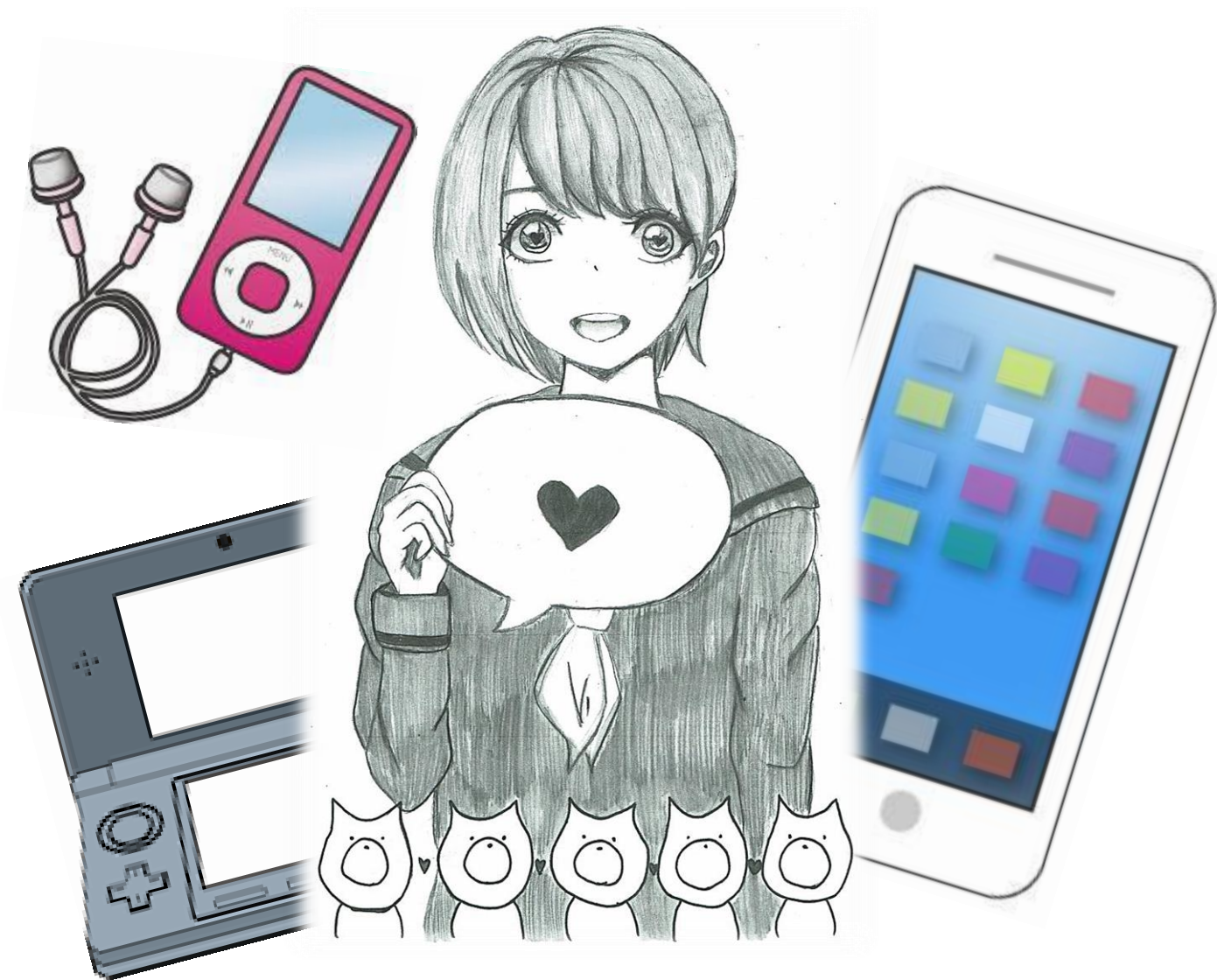


保護者のための
子どもたちの
スマホ・ネットハンドブック

— 上手に使うヒントがいっぱい —



柏市立柏第二中学校 PTA

作成協力 千葉大学大学院人文社会科学研究科 飯島 淳
柏市少年補導センター 指導主事 麻生 徹

この冊子について

この冊子は、情報モラルに関するPTAの講習会をもとに、アンケート調査でわかった二中の保護者・子どもたちの現状や、思いを付け加えて作りました。

ここには、スマホやネットにつながる各種機器を安全に使用していくための知識・技術、そして生徒たちが作り上げた二中のルール、「二中スタンダード」（第7章、p.39）が掲載されています。それらを参考にし、ぜひお子様と語り合いながら、ご家庭でのルールを作ったり、バージョンアップしたり、再確認したりしていただければと思います。

多感な思春期の子どもたちが、ご家族やお友達と良いコミュニケーションをとりながら、これからの素晴らしい人生を歩めるように、この冊子がお役に立てたらと願います。

柏二中の講習会でのご指導やアンケート調査をはじめ、この冊子の制作にあたりご協力を頂いた、千葉大学大学院人文社会科学部 飯島 淳先生、柏市少年補導センター 麻生 徹先生に深く謝意を表します。

柏二中 PTA 成人教育委員会

表紙イラスト：文芸部 森 美咲さん

この冊子は、柏二中ホームページ <http://www.dai2-j.kashiwa.ed.jp/> からもお覧になれます（カラー版）。

目次

はじめに.....	2
第1章 スマホ・ネットに関する素朴な疑問 Q&A.....	3
第2章 子どもたちのスマホ・ネット使用に潜む危険性	7
第3章 二中の子どもたちをとりまく状況	15
第4章 安心・安全のための対策.....	16
第5章 親・子のつづやき.....	36
第6章 子どもと向きあうためのヒント	38
第7章 我が家のルール作りに向けて	39
第8章 困ったときの相談窓口情報	43
参考文献・参考情報	45

はじめに

お子さんは、どの機器を持っていますか？

<p>スマホ Android</p> 	<p>スマホ iPhone</p> 
<p>各社製。iPhone でないもの。</p>	<p>Apple 社製。背面にりんごマーク。</p>
<p>携帯型ゲーム機 Sony PlayStation</p> 	<p>携帯型ゲーム機 任天堂 DS</p> 
<p>携帯型音楽プレーヤー Sony Walkman</p> 	<p>携帯型音楽プレーヤー Apple 社製 iPod touch</p> 
<p>パソコン</p> 	<p>タブレット (例、Apple 社製 iPad)</p> 

ゲーム機や音楽プレーヤーでも、無線 LAN (Wi-fi) でインターネットにつながって、電話機能のないスマホのように使えるものがあります。

この冊子でいう「スマホ・ネット」とは、これらの機器を含めた端末機器を指します。スマホ以外の機器にもあてはまることと考えると、お読みください。

第1章 スマホ・ネットに関する素朴な疑問 Q&A

保護者よりも子どものほうが詳しくなっている？スマホ・ネット。保護者には？？がいっぱい。主なものをまとめて、二中 PTA 講習会講師の先生方に聞いてみました。

Q.1 LINE のプロフィールアイコンに、顔写真を載せるのは危ないのですか？

A.1 LINE の公開設定の範囲を明確に取り決めて利用していれば、一概に危ないとは言いきれません。ただ、学校等が特定されやすい制服を着て写した写真、友人との2ショットなどは様々なトラブルを誘引しやすいです。



Q.2 LINE のタイムラインで、他の人の投稿に「いいね！」スタンプを押すと、その投稿した人とつながり、友達を増やすことになってしまうのですか？

A.2 「知らない人」でもスタンプ欄のアイコンからトップ画面を見ることができますので、「友だちへの追加」に関する設定をしていなければ、一方的に追加されてしまう可能性はあります。また、あなたの電話番号を保有している LINE ユーザーであれば、自動で「友だち追加」されたり、検索されてしまいます。安全な設定方法は第3章参照。

Q.3 決まった友達としか LINE 交換していないはずなのに、いつの間にか友達の友達など、知らない人も含めて登録人数が多くなっているのはなぜ？

A.3 設定を確認してください。設定方法は第4章をご参照ください。

Q.4 街の Wi-fi が危ない、というのはどうして？

A.4 街中の Wi-fi (公衆無線 LAN) は便利ですが、パスワード等を入力する必要がなく、セキュリティの保護がありません。第三者から通信内容を盗み見られる可能性があり、個人情報や重要なデータのやりとりは避けましょう。(参考:マイクロソフト セーフティとセキュリティセンター <https://www.microsoft.com/jA.-jp/sA.fety/msy/msy005.A.spx>、および独立行政法人情報処理推進機構「公衆無線 LAN に係る脅威と対策」<https://www.ipa.go.jp/files/000051453.pdf> より)



Q.5 格安スマホと普通のスマホ。子どもに持たせるにはどういう違いがあるのですか？

A.5 大手携帯電話会社の店頭ではスマホや携帯電話購入の際必ずフィルタリングの説明があり(平成20年法律で義務化)その場で申し込むことも可能。一方格安スマホでは自分でフィルタリングについて調べなければならない場合が多いのが実態です。従って

- ① GooglePlay や AppStore からフィルタリングアプリをダウンロードする
- ② 格安スマホの有償オプションとして申し込む
- ③ 格安スマホの無償のフィルタリングサービスを利用する

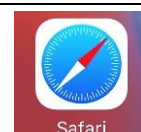
などの対策が必要です。(参考:i-フィルター http://www.daj.jp/cs/newswatch/160915_01/)

Q.6 時間制限をするアプリはないですか？／ゲームの時間制限はできますか？

A.6 以下の表を参考にしてください。

機器		方法
スマホ・タブレット	iPhone	「設定」→「一般」→「アクセシビリティ」の「アクセスガイド」をオンにします。 時間制限をかけたいアプリを起動し、ホームボタンを3回押して「アクセスガイド」にします。「オプション」で「時間制限」を選び、時間設定をします。
	Android	「Yahoo!あんしんネット」などのペアレンタルコントロール（保護者の管理）用のブラウザ*で行います。 携帯電話会社のフィルタリングサービスの中で、できる場合がありますので確認を。 Android6ではそれに加えて「アプリロックアプリ」というアプリで時間制限ができます。その他、「スマモリ」「スマホスピタル」などのアプリもあります。
携帯ゲーム機	PlayStation®Vita	「ペアレンタルコントロール」から1日あたりの利用時間を設定します（残り時間の通知も可能）。 (PlayStation®Vita ユーザーズガイド http://manuals.playstation.net/document/jp/psvita/parental/about.html)
	Nintendo 3DS	時間制限不可。その他の機能制限は可能です。 (任天堂 保護者による使用機能制限の設定方法 https://www.nintendo.co.jp/parents/index.html)
携帯音楽プレーヤー	iPod	iPhoneと同じ。
	Walkman	本体での時間制限は不可。Android搭載のものは、上記参照。
	iPod, Walkmanとも	自宅でのネット接続時間を、無線LANのタイマーで設定。
パソコン		マイクロソフト https://account.microsoft.com/family/about 子どものオンライン上の活動や安全管理、使用時間の設定などができる。
共通	「ネット（Wi-fi）接続時間」の制限	自宅でのネット接続時間を、無線LANのタイマーで設定。 例)「こども安心ネットタイマー」（日本PTA全国協議会推薦）は、自宅の無線LANを使用する機器ごとの時間設定ができます。（こども安心ネットタイマー http://121ware.com/product/atermstation/special/kodomo_timer/)

(*ブラウザとは、ウェブサイトを見るためのソフトウェア。iPhoneならSafari、AndroidならGoogle Chromeなどが搭載されています。)



Q.7 子どもは暇があればスマホを見ている状態です。着信音がひんぱんに鳴り、スマホを手放しません。どうすればいいでしょう？

A.7 前提として、スマホは保護者が契約し、子どもに「貸し与えている」情報端末機器であることを認識してください。そのうえで①・②のルールを取り決め、実施してみてください。

① 充電器を保護者の目の届くところに置かせる。部屋への持込厳禁！

② 設定を変更するために必要なパスワード（画面ロックとは異なります）を保護者が決め、アプリの機能制限や時間の制限を設定する。

これに子どもが不満だったり、パスワードの再設定のために一時的な返却をしない場合は、契約を解約する覚悟も必要です。（端末がなくても「解約」の手続きはできます）。解約に関する費用はかかりますが、どうしても状況を打破、改善するためには必要な投資の一つです。

Q.8 なぜ家庭でルールを作ったほうがいいのですか？

A.8 スマホ・ネットは、便利で楽しい道具で、親も「連絡が取りやすい」と考えて与えたりします。しかし、指一本の操作で、人生を左右するトラブルに巻き込まれる危険があります（第2章参照）。

子どもまかせにせず、大人が関わることで子どもたちの生活や人生を守ることができます。

子どもの言い分を聞きつつ、家庭内で話し合っ使用方の「約束」を決めましょう。「子どもが友達に断りたいときの口実にできる」「皆で取り組めば、学校全体でいじめなどのトラブル防止になる」というメリットもあります。



出典：こども安心ネットタイマー

https://121ware.com/product/atermstation/special/kodomo_timer/

Q.9 最初にルールを決めていませんでしたが、親よりも子供のほうがスマホに詳しくて、今さらルールを設定できそうにないです。どうしたらいいのでしょうか？

A.9 未成年であれば、スマホは本人が直接契約することはできません。つまり、スマホは保護者の責任のもと子供に「貸し与えている」情報端末機器なのです。しかし、多くの子どもは「買い与えられた」ものであると思い込んでいます。

この思い込みを是正することが第一歩です。まず保護者から子供にしっかりと「貸し与えている」ということを伝えます。そこでもし子どもが不満なら、利用のルールを含めた「約束」を守るという意識が芽生えるまでは、契約者である保護者の「権利」のもと、一定期間預かる必要があります。

また、取り決めたルールや約束は「紙に書き出し、見えるところに貼っておく」ことが効果的です。約束に違反したときのペナルティも明記しておくことで、子どもの意識も向上します。

Q.10 年上のきょうだいがいて、ゆるい環境に流されてしまうのですが、どうしたらいいのでしょうか？

A.10 ルールとペナルティは、子どもの発達段階と理解度に応じて「変えていくべきもの」です。小学生・中学生・高校生では、年齢差以上に情報モラルに対する意識と理解の差は歴然としています。また、家庭環境によっても最初に「貸し与える」年齢と目的は千差万別です。

周りに流されず、家庭環境や利用の目的を明確にし、基本的には子どもごとに話し合いながら、年齢に応じたルールとペナルティを取り決めることが求められます。

また、夏休みなど長期休業中は、それに応じたルールにするなど、定期的に見直すのも良いでしょう。

スマホ・ネット時代の保護者の三つの役割

